

暗くてグチグチは要注意



先のごとは、誰にも分からない。

まして、認知症になるとか、どうか。予測などつくわけがない。

ひとは、見かけによらないのだ。20年近く、高血圧の治療をしてきた77歳のY子さん。優しく良さそうなおひとだった。それが、興奮して暴言を吐き、暴れ、夫に噛みつくようになるとは。5〜6年前に、認知症を発病していた。

同じ認知症でも、記憶障害などの中核症状が目立つだけで、家で穏やかに過ごせるひともいる。だが、Yさんのように、興奮や徘徊などの周辺症状が目立つようになることも、家族の手に負えない。

この周辺症状の背景には、患者さん

認知症になりやすい性格

んの生活環境や性格、家族との人間関係などが複雑に絡み合っている。で、話を聞くと、あのYさんが、家ではわがままで鼻つまみだったという。癩癩持ちで、夫婦仲も娘との仲もうまくいっていなかったのだ。

実は、認知症になりやすい性格というのがある。スウェーデンで、女性を対象に性格と認知症の関係を調べている。内向的で心配性。

そして怒りっぽいひとは、アルツハイマー病の危険性が2倍になるという。ま、暗くてグチグチ文句を言い、すぐに泣いたり喚いたりするひとは誰からも好かれまい。

家族の絆だって、簡単に壊れてし

「怒りっぽい」も良くない

まいそつだ。そんな、認知症になりやすく、なればひどい症状になるといふ性格は、なんと、探せばワッシーの中にもある。ある。しかも、三つ子の魂百まで。気質は変わらない。性格だって、簡単に変えられない。

でも、性格が同じなら、みんな認知症になるわけでもない。オタオタするな。ここはC調が良い。ワッシーは、「自分だけは認知症にならない」と信じることにした。もちろん、忘れてはいない。奥さんのご機嫌だけは、絶対に損ねてはいけないことを。

(石黒修三 いくるクリニック)

・脳神経外科専門医、金沢市在住